

Johannes Brahms (1833-1897)
Zwei Motetten Op29-2 „Schaffe in mir, Gott, ein rein Herz”

J.ブラームス「神よ、私に清い心を造りたまえ」

テキストとなっている詩篇 51 全体を貫いているテーマは、罪の認識とそこからの解放、そして清めと喜びである。この 12-14 節では罪を犯した自分が神の許しにより清められ、魂が開放される。そして再び神との新たな出会いをブラームスの音楽が印象深く描いて行く。

Schaffe in mir, Gott, ein rein Herz, und gib mir einen neuen, gewissen Geist.

Angesicht und nimm deinen Verwurf mich nicht von deinem heiligen Geist nicht von mir.

Tröste mich wieder mit deiner Hilfe, und der freudige Geist erhalte mich.

神よ、私の内に清い心*を創造し、新しい、確かな霊を私に授けて下さい。

御前から私を退けず、あなたの聖なる霊を私から取り上げないで下さい。*

あなたの救いの喜びで私に慰めを与え、喜びの霊*が私を支えますように。
(詩篇 51,12-14)

*ハーモニーがこの「清い心」のを描く。それは罪の悔い改めをくぐりぬけて来た、昇華された境地。

*フーガの旋律は自分の罪の重さに耐えかねてもがき苦しみ、神へ憐れみ乞い願っている。

*神の許しを得て心が喜びに変わると、曲はG-Dur(ト長調)に移行し、テンポを速め新生への力が沸き起こる。